

新潟県

260以上の拠点に配置した約6,000台のPCをオンサイトで消去
LGWAN環境下に展開した管理コンソールで消去の進捗を可視化
総務省のガイドラインに準拠したオペレーションを実現



世界文化遺産に登録された「佐渡島の金山」

デジタル改革を推進する新潟県は、Blanccoのソリューションを活用し、県内24市町村260箇所および県外2箇所に配置するリース契約期間満了を迎えた約6,000台のPCのデータ消去と消去レポートの収集をネットワーク経由で実施。総務省のガイドラインで義務付けられた設置場所でのオンサイト消去を実現すると同時に、ネットワーク経由の処理により、従来と比べて大幅な業務効率化と約50%のコスト削減に成功。

お客様情報

お客様名：新潟県

所在地：〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町 4-1

Web サイト：https://www.pref.niigata.lg.jp

四季折々の豊かな自然と美しい景観を持ち、古くから水運の拠点として栄えた歴史と文化が息づく新潟県は、農業や観光だけでなく、ものづくりをはじめとした多種多様な産業基盤と技術の蓄積、そして充実した交通インフラも大きな強みです。現在は県政運営の総合的な指針である「新潟県総合計画」において「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を基本理念として掲げ、その実現に向けて様々な政策を推進しています。

導入製品 / ソリューション

- ① Blancco Drive Eraser
- ① Blancco Management Console
(現 Blancco Management Portal)

導入パートナー

会社名：FLCS 株式会社

Web サイト：https://www.flcs.co.jp/



Blancco が実現していること

- ✓ 総務省が策定した「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠したオペレーション
- ✓ 県内24市町村260箇所および県外2箇所に配置した約6,000台のPCの約95%をネットワーク経由で効率的に消去
- ✓ Blancco Drive Eraserを資産管理ソフトからネットワーク経由ですべてのPCに一括配信
- ✓ 安全なLGWAN環境下に展開したBlancco Management Consoleで消去の進捗を可視化、同時に消去レポートの収集を自動化
- ✓ スタッフが各拠点を訪問して行う従来のオンサイト消去と比べて、約50%のコスト削減を達成

Blanccoは、データ消去の進捗がきちんと確認できる点が非常に良かったと思いました。本庁に設置したコンソールから日々の消去の進捗をリアルタイムに確認できたので安心して見守ることができました

荒川 和也 氏

新潟県

知事政策局 ICT推進課 行政デジタル化推進班

システム調整担当 主事

「総務省のガイドラインの改訂によりオンサイト消去が義務化されましたが、すべての拠点にスタッフが訪問するやり方で消去を実施した場合のコストと時間は膨大なものになり、返却までのスケジュールも長期化してしまいます。そのため、どのように効率化できるか頭を悩ませていました」(荒川氏)

Blancco Drive Eraserを ネットワーク経由ですべてのPCに配布

そこで、リース会社のFLCS株式会社(以降、FLCS社)は、Blancco Drive EraserをMSIファイルとして資産管理ソフト経由で全職員のPCに配布し、職員の操作によりPCの設置場所にて消去を行うというソリューションを提案しました。FLCS社の浅利 健氏は、次のように話します。

「Blancco Drive EraserはMSIファイルとしてネットワーク経由でリモートにあるPCに直接配布することができます。配布先のPC上で消去を実行するには、職員の皆様に少し協力いただく必要がありますが、PCの設置場所での消去が可能です。さらに、消去後に消去レポートをネットワーク経由で収集できるため、進捗管理が容易になります」(浅利氏)



浅利 健氏

FLCS株式会社
新潟営業所長

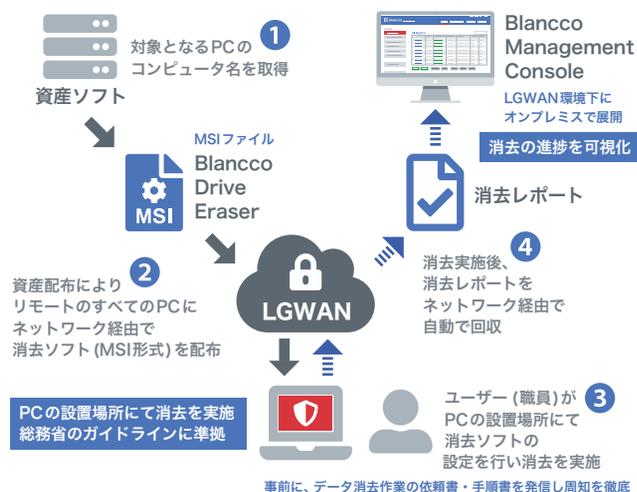
また、消去の進捗管理とレポート収集には管理コンソールであるBlancco Management Consoleが必要です。通常であればクラウドサービスを利用するのが一般的ですが、LGWAN環境下にオンプレミスで展開することで、自治体に求められる安全な通信を確保した上で、本庁のICT推進課から一元管理できるようにします。

「オンプレミスと言っても、モバイルPCを一台、準備いただきLGWAN環境下に設置するだけです。サーバ構築は行いません。理想的にはバックアップなどがあるのでサーバはあった方がいいですが、基本的な機能はモバイルPCでも十分に動作しますので、今回はコストや工数を抑えるために簡易的にPCで実装の方がいいと考えました」(浅利氏)

これらソリューションの提案についてICT推進課の荒川氏は次のように話します。

「他の方法では実現が難しい中、オンサイトで消去を効率的に実現する方法としては、ある程度予想はしていましたが、私たちが協力させていただくことで実現できるなら、ぜひ、協力させていただきたいと考えました」(荒川氏)

本庁のICT推進課からデータ消去を一元管理



FLCS社が提案したデータ消去ソリューション

データ消去をネットワーク経由で 実施する上での課題

ただ、計画段階において、職員が多忙により作業ができない、そもそもPCが起動しないなどのケースが想定されたため、ソリューションとしては、MSIファイルのネットワーク配布だけでなく、FLCS社のスタッフが訪問して行う消去、そして、物理破壊の3つのパターンを組み合わせることで計画を進めました。当初、ネットワーク経由で処理できるのは、全体の半分になる約3,000台を想定していたと言います。

「職員の方々にとっては業務外の作業になるため、実際にネットワーク経由で処理できるのは、全体の半分くらいだろうと感じていました」(浅利氏)

さらに、ソフトウェア配布後の操作に関しても、操作の難しさから対応してもらえるかどうか懸念があったと言います。

「消去の設定の際にBIOSでの操作はないと思っていたのですが、検証時にやはりBIOSの操作が必要と判明しました。普段から利用する画面ではないので、負担に感じてしまう職員も出てくると感じていました」(荒川氏)

